

兵庫県内の自然公園位置図及び兵庫県版レッドリストに係る主な分布図

- 1 兵庫県内の自然公園位置図
- 2 地形レッドリスト分布図
（「地形」：自然や土地の成り立ちを示す典型的なものを中心に選定。）
- 3 地質レッドリスト分布図
（「地質」：学術的に貴重な地質を中心に選定。）
- 4 自然景観レッドリスト分布図
（「自然景観」：景観資源的価値と自然的価値の両面から評価した景観に加え、人の暮らしに密接に関わる景観を選定。）
- 5 生態系レッドリスト分布図
（「生態系」：希少な動植物がまとまって生育・生息する場、又は希少種に限らず多様な生物群集が成立する場を選定。（全国初））
- 6 その他レッドリスト分布図
 - (1) 植物Aランク種の分布図
詳細は非公開（五国単位。播磨のみ東西を区分）（例：ヒメスギラン）
 - (2) その他の分布図
市町単位で公開

自然公園位置図

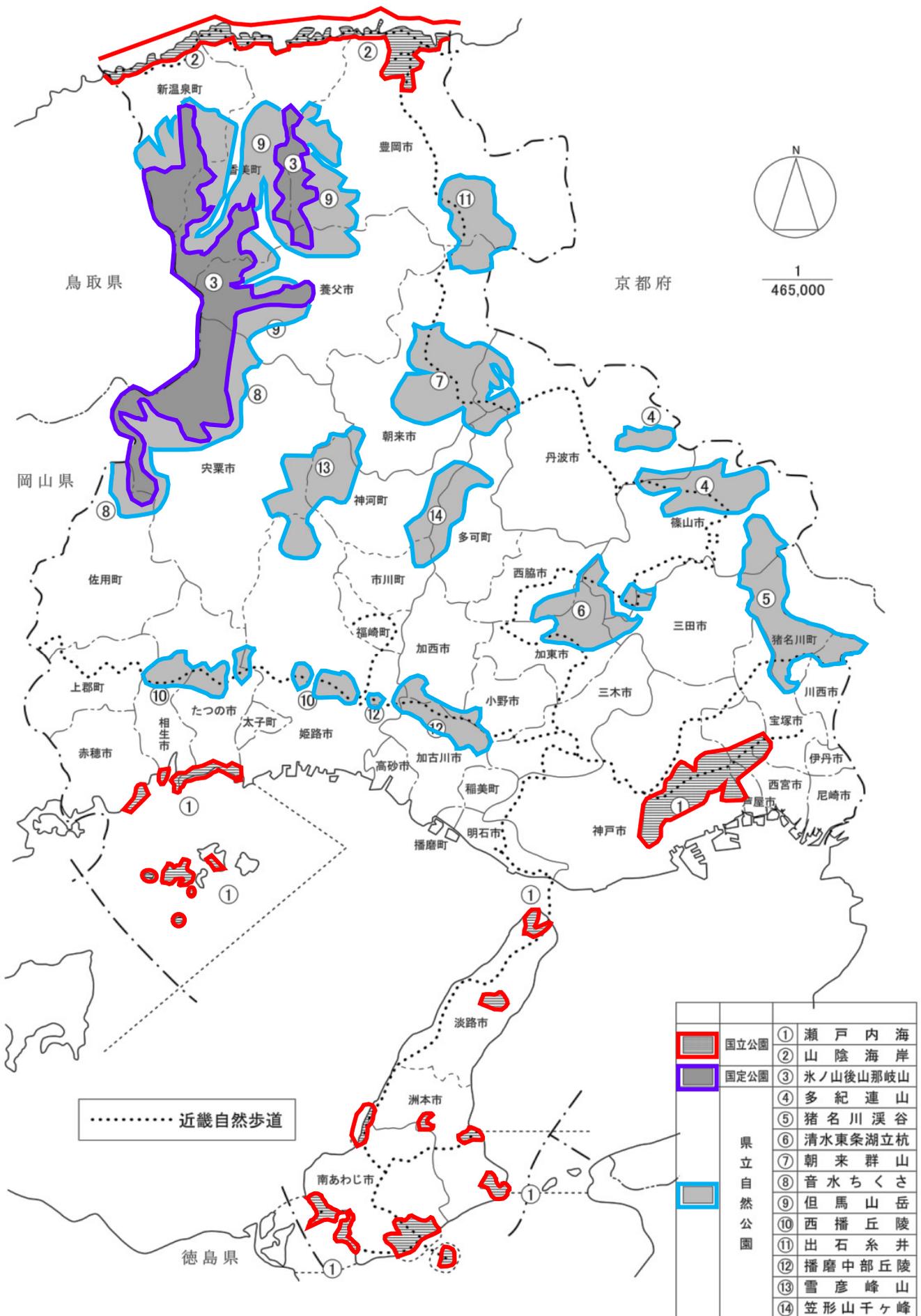


図1 地形レッドリスト分布図

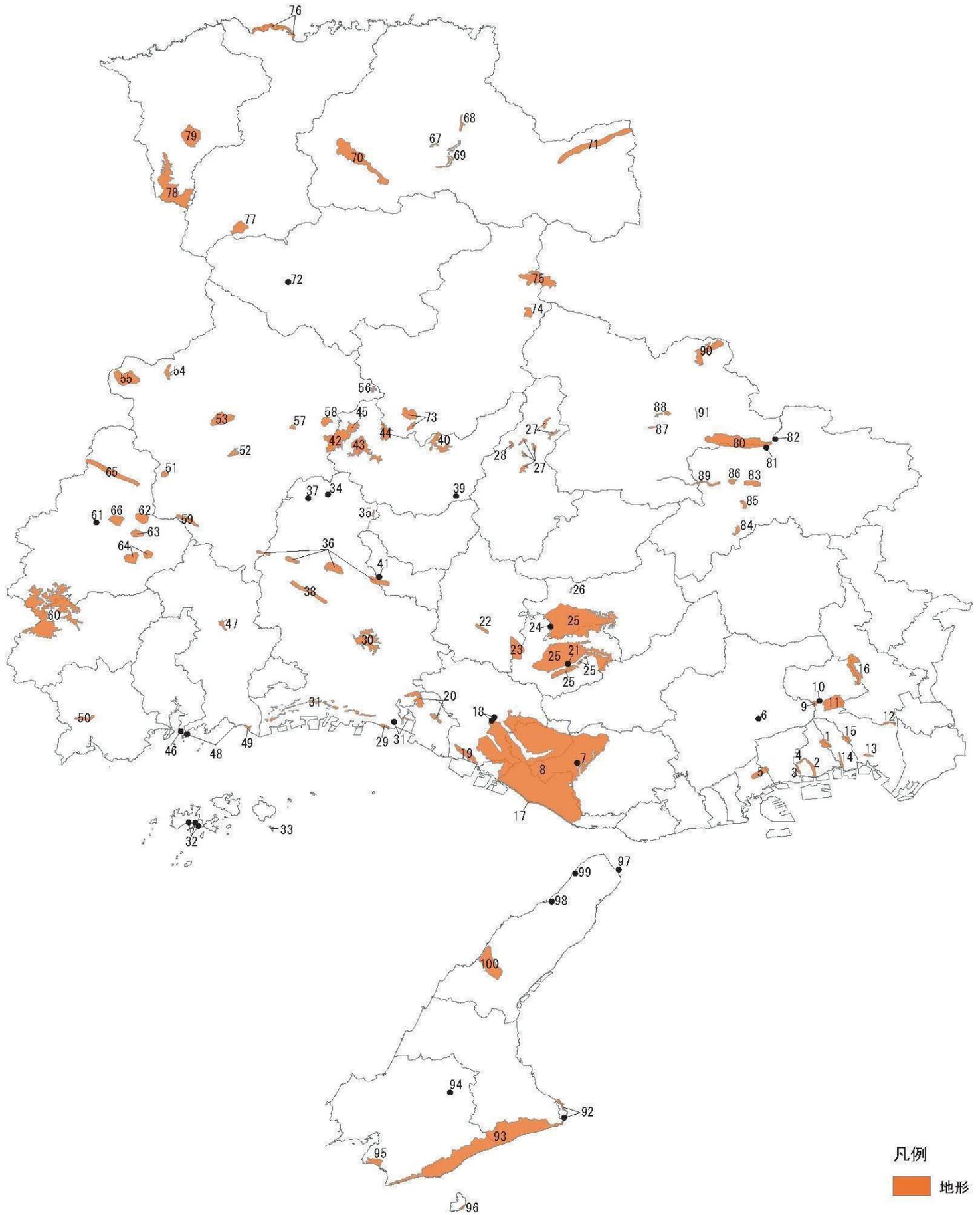


図2 地質レッドリスト分布図

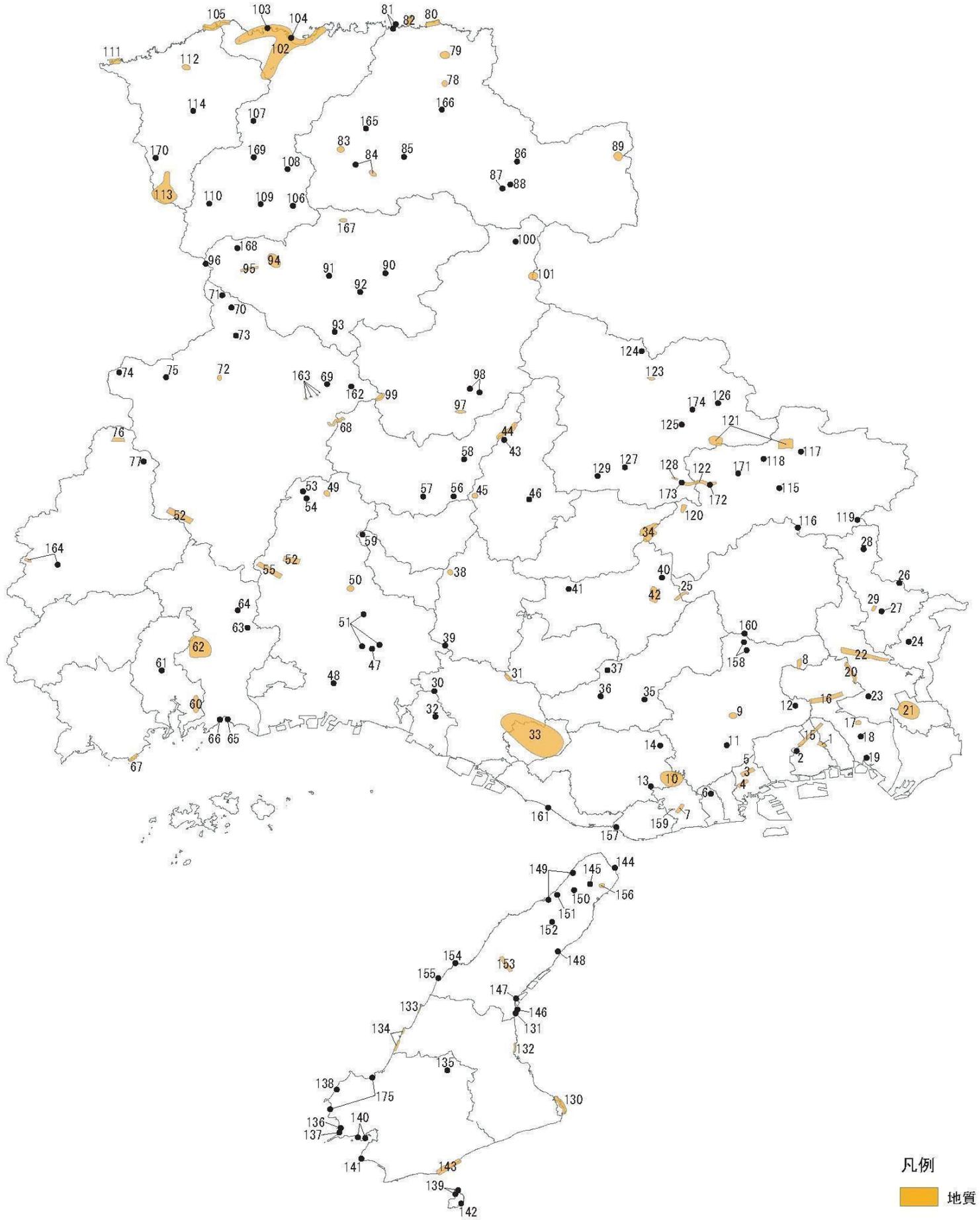


図4 自然景観レッドリスト分布図

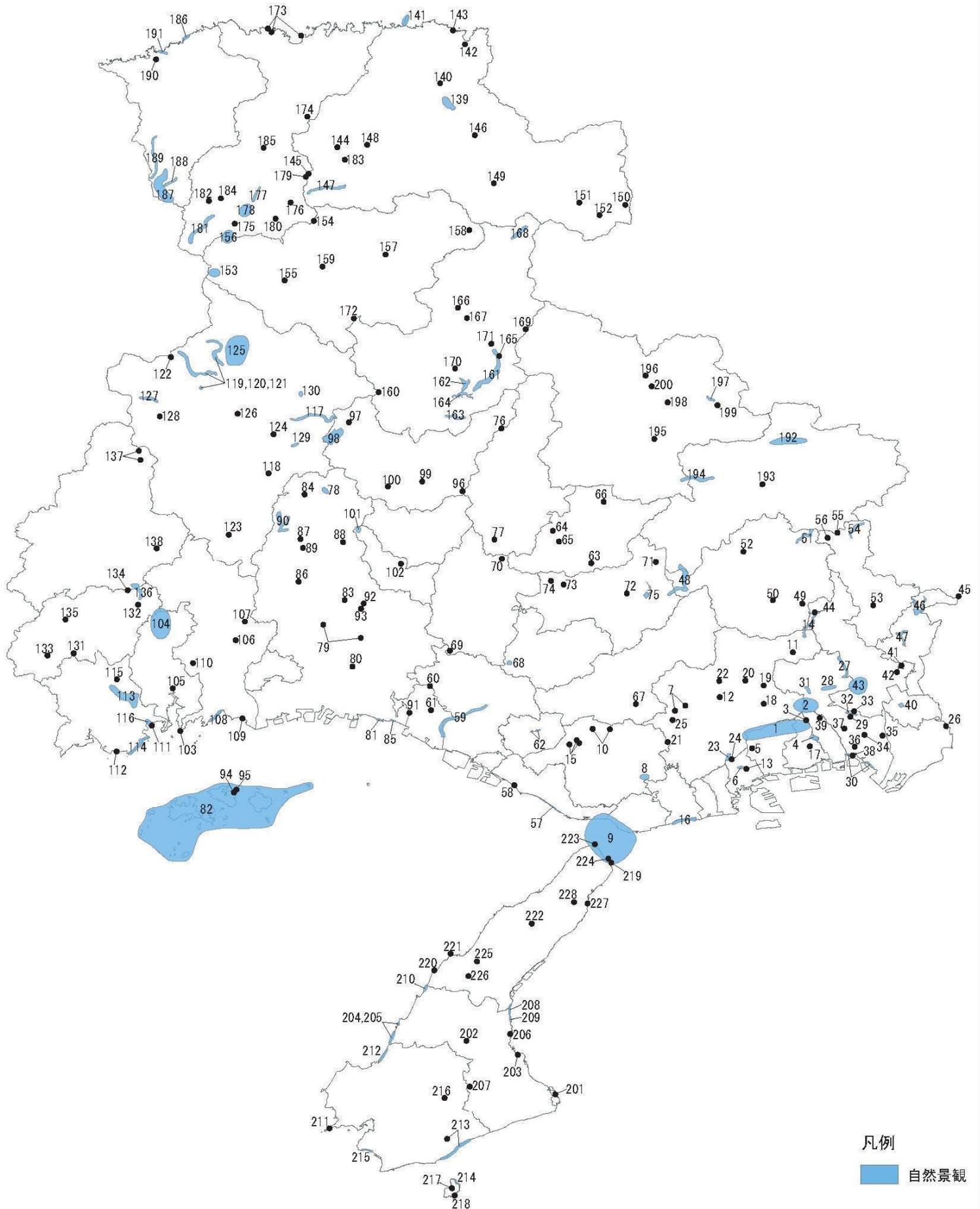
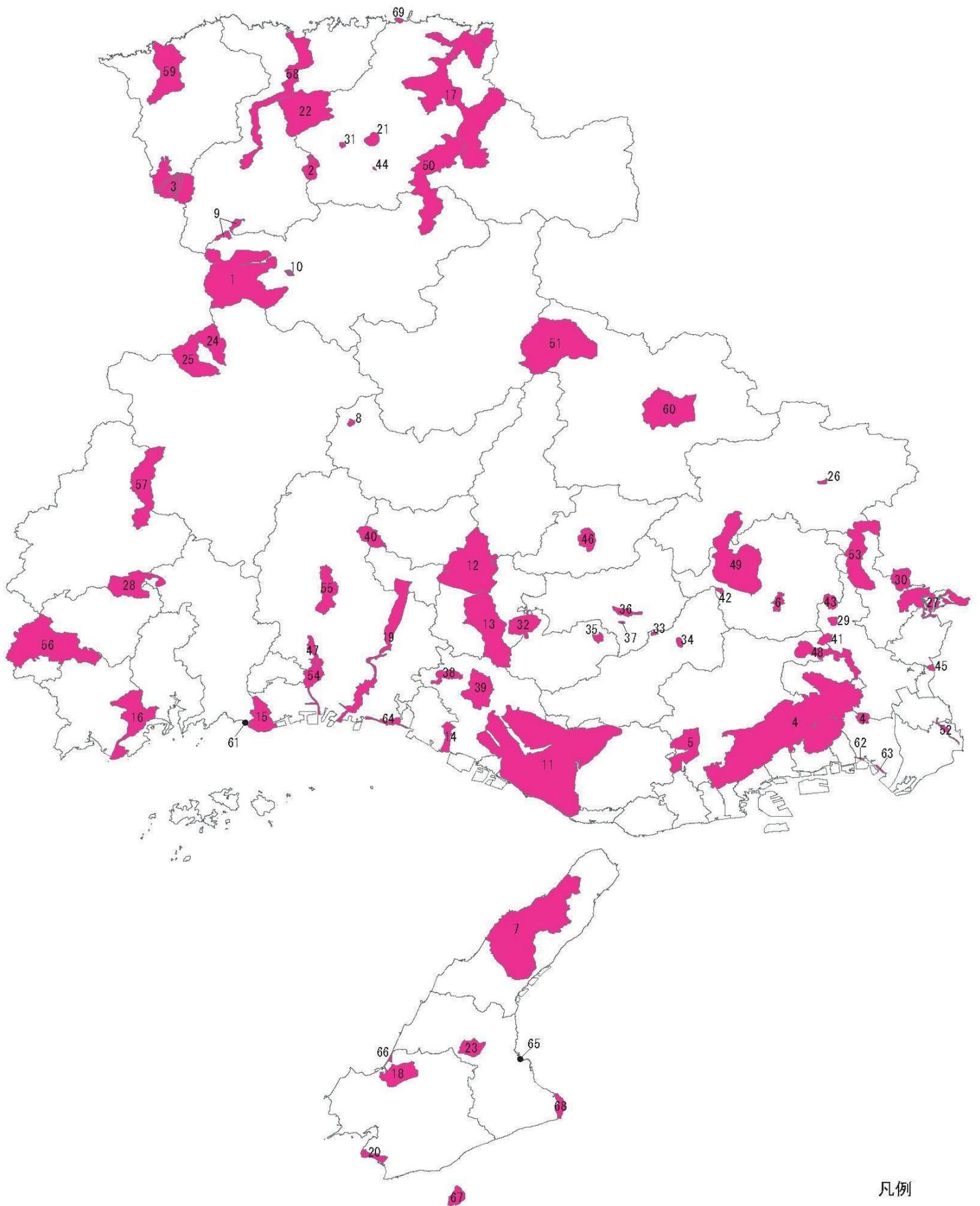


図5 生態系レッドリスト分布図



ヒメスギラン

Huperzia miyoshiana (Makino) Ching

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

■ 県内分布

但馬

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	○ 分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

2010年版では新規自生地が見つかったため、Bランクに変更したが、生育地が限られた高地であるため2020年版でAランクに変更。



写真提供:松岡成久

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

常緑性で、蘚類とともにやや湿った岩上等に生える。短くはう茎には、高さ5-15cm程度の複数の直立茎を生じる。その頂端にはときに芽体(むかご)をつける。針状の葉はやわらかい。

ミズスギ

Lycopodiella cernua (L.) Pic.Serm.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

■ 県内分布

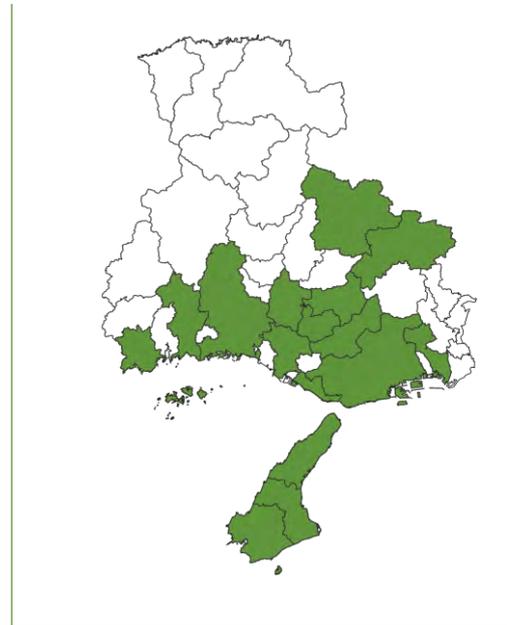
神戸市、西宮市、明石市、加古川市、三木市、小野市、加西市、加東市、姫路市、赤穂市、たつの市、丹波篠山市、丹波市、洲本市、南あわじ市、淡路市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州、琉球諸島、小笠原諸島

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	○ 特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

生育地は低湿地等。日当たりがよく、ときには湿る場所を好むようでしばしばトウカイコウモウセンゴケとともに生える。こうした環境が少なくなり、減少しているようである。

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

常緑性で、砂地や岩盤に茎が長くはい、不規則に分岐。直立茎は県内ではせいぜい高さ30cm程度。分岐して樹木状になる。小枝の先端に孢子囊穂を垂れ下げる。

7 ヒメホオヒゲコウモリ

(ヒナコウモリ科)

兵庫県ランク:A

Myotis ikonnikovi

環境省ランク:-

種の概要

北海道と本州で分布が報告されている。本州では、標高の高いブナ林などの原生林に生息し、樹洞をねぐらとしていていると考えられているが、西日本での生息確認は極めて少ない。体毛は黒褐色からこげ茶と変異がある。近年北海道全域から生息が確認されたことから環境省のリストからはランク外となった。



県内における生息状況及びその他特記事項

兵庫県ではこれまで報告がなかったが、2011年に養父市にて2個体が捕獲された。ブナ林などの原生林の樹洞を利用すると考えられているため、県内の生息環境は極めて限られていると考えられる。

写真提供:衣笠 淳

保護上の留意点

県内の生息環境は非常に少ないため、ブナ林の保全が重要になると考えられる。

県内分布

養父市

【執筆者】横山 真弓

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	○
学術性	孤立	
	極限	○
	限界	
	希少	○



1 アカウミガメ

Caretta caretta

(ウミガメ科)

兵庫県ランク:A

環境省ランク:EN

種の概要

世界中の温帯域から熱帯域の海域に見られるが、繁殖場所は限定されており、例えば太平洋の北半球部分では、日本の砂浜が唯一の産卵場となっている。背甲は後方に伸びた水滴形で、成体の甲長は60～100cm、孵化幼体の甲長は4cm程度。孵化直後から甲長45cm程度までの個体は日本の沿岸海域を離れて漂流物とともに浮遊生活をしていると考えられ、発見されるのは稀。敷石状に並ぶ鱗板は表面に光沢がなく赤褐色。頭部はアオウミガメ及びタイマイと比較して大型で、前額板は左右対称に2対か、もしくはこれらの接合する中央にさらに1枚が加わる。



写真提供: 亀崎 直樹

県内における生息状況及びその他特記事項

洲本市の砂浜海岸で、少数の上陸、産卵記録がある。また本土部の瀬戸内海に面した海岸で衰弱した個体や死体が打ち上げられた記録が十数例ある。

保護上の留意点

上陸・産卵記録のある洲本市の砂浜海岸について、車両の乗り入れ等による砂の踏み固め、工事による周辺の海岸線や海底地形の変化が引き起こす海流の変化に伴う砂の流失、さらには海岸近くへの道路や構造物の敷設に伴う夜間の灯火光の増加といった、繁殖活動への阻害要因の増加に留意する必要がある。

県内分布

芦屋市、明石市、高砂市、洲本市

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	△



【執筆者】太田 英利

モートンイトトンボ

Mortonagrion selenion

兵庫県：Aランク

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

体長23～32mm程度。♂は胸部が黄緑色で黒斑があり腹部後半は橙赤色。♀は未熟個体では橙黄色で無斑であるが、成熟すると緑色となり腹部背面に黒条が現れる。平地から低山地の草丈の低い抽水植物が繁茂した湿地や休耕田などに生息する。成虫は5月～9月に見られる。



写真提供：二宗誠治

国内分布

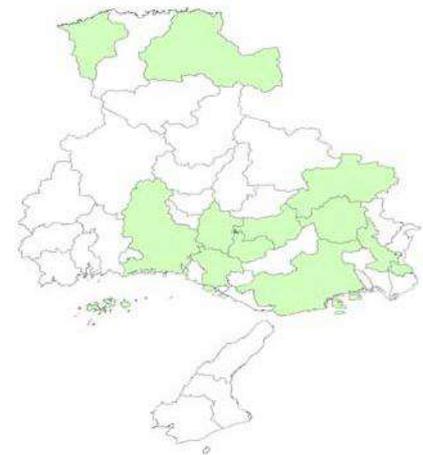
北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、伊丹市、宝塚市、三田市、加古川市、小野市、加西市、加東市、姫路市、豊岡市、新温泉町、篠山市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○



特記事項

BランクからAランクに変更

各地で生息地、個体数の減少傾向が強く、このままでは危機的と判断される。

保護上の留意点